

本

に親しむきっかけに

4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」。普段はあまり本を読まないという家庭でも、この機会に本を開いてみませんか。そこにはすてきな物語との出会いが待っているはずです。

子どもの健やかな成長 読書が手助け

読書は子どもの「感じる力」「考える力」「表す力」を育てる重要な活動の一つです。ほかにも、知識を深めたり、他人の気持ちを理解する力を養ったりするのに役立ちます。

子どもに、本や物語と出会う機会をつくってあげてください。

読書の習慣 大人が環境づくり

子どもが本に親しむには、周りの大人の働きかけが必要です。特に大切なのが乳幼児期。絵本の読み聞かせや「おはなし」をしてもらうことで、子どもは本に親しむことができます。

子どもの頃に出会って感動した絵本や読み聞かせをもらった

思い出は、いつまでも心に残るものです。自分で字を読めるようになったら、読み聞かせやおはなしを続けてあげてください。物語を耳で聞くことで想像力が養われます。また、親の温もりを感じながら優れた物語に出会うことは、子どもの心を豊かにしてくれます。

市立図書館も 応援します

4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」で、子どもと本の橋渡しをするさまざまな行事が全国的に行われています。

市立図書館では、小学1年生に読んでもらいたい本を紹介するブックリストを毎年作り、学校を通じて配布しています。

また、市立図書館本館・公津の杜分館では、保護者が子どもの読書について考える際に参考になる



小学1年生・乳幼児向けのブックリスト

本を展示しています。

子ども・親子を対象に おはなし会を開催

市立図書館では1年を通して、子どもたちに本や図書館に親しんでもらおうと、おはなし会を開催しています。楽しい絵本やおはなしに出会い、図書館を訪れてみませんか。

おはなし会の日程などは、広報なりたでお知らせします。

絵本を開いて物語の世界へ

赤ちゃんのおはなし会

乳幼児と保護者を対象に、「0・1歳のおはなしかい」「2・3歳のおはなしかい」を開催。親子で一緒に行う手遊びやわらべ歌が中心で、そのほかに絵本の読み聞かせも取り入れています。

おはなし会の最後には、家庭で読み聞かせをするのにお勧めの本とその紹介文を掲載したブックリストを配布しています。

土曜日のおはなし会

毎週土曜日の午前11時から、1人で聞ける子どもを対象に行っています。第3土曜日は、語り手が子どもたちの目を見ながら語る「おはなしのかい」で、対象は5歳～小学生。そのほかの土曜日は「えほんのかい」で、4歳～小学生が対象です。

平成26年11月からは「おはなし



わらべ歌で親子交流(0・1歳のおはなしかい)

かいカード」を導入。おはなし会への参加1回ごとにスタンプが押され、10個たまると、市立図書館からのお楽しみプレゼントがもらえます。

季節のおはなし会

3月に「はるやすみおはなしかい」、7月に「なつやすみおはなしかい」を行っています。

季節のおはなし会では、小道具を使ったり、エプロンシアターを取り入れたりもします。

公津の杜のおはなし会

4月から毎月2回の開催になりました。第2土曜日と第4火曜日の午後3時から、1人で聞ける子どもを対象に行っています。

読み聞かせ

あなたも始めませんか

市立図書館では、地域での読み聞かせなど、子どもと本をつなぐ活動をする人を応援しています。5月には、「絵本の読み聞かせ講座」を開催。詳細は19ページをご覧ください。

そのほか、どのような本を選べば良いか分からないなど困ったことがあれば、市立図書館に相談してください。

※くわしくは同館(☎27・2000)へ。

幼児向け



「かばくん」

岸田^{えりこ}裕子/作 中谷^{なかに}千代子/絵 福音館書店

動物園に朝が来て、ねぼすけのかばくんが目を覚まします。小さなかばの子とかめくんも一緒に、たくさんの子もたちを迎えます。かばくんは、キャベツとトウモロコシのごはんをペロッと食べて、お腹いっぱい。みんなが帰った動物園の夜、かばくんは眠りにつかしました。おやすみ、かばくん。

小学1・2年生向け



「こねこのぴっち」

ハンス・フィッシャー/文・絵 石井桃子/訳 岩波書店

ぴっちは、りぜっとおばあさんの家で暮らしていましたが、いつもと違うことがなくなって、家を出ました。おんどの真似をしたり、ヤギやアヒル、ウサギに出会ったりしますが、疲れて小屋で眠ってしまいます。やがて夜になり…。

いい本見つけた

たくさんの中の中から、特におすすめのものをご紹介します。市立図書館には、ほかにも面白い本がいっぱい。ぜひ足を運んでください。

小学3・4年生向け



「大どろぼうホッツェンプロッツ」

プロイスラー/作 中村^{こうぞう}浩三/訳 偕成社

有名な大どろぼうホッツェンプロッツに、おばあさんの大切なコーヒーひきが盗まれました。孫のカスパールは、コーヒーひきを取り返すため、仲良しのゼッパルと一緒に、大泥棒の隠れ家を探します。

小学5・6年生向け



「クローディアの秘密」

E.L.カングズバーグ/作 松永ふみ子/訳 岩波書店

12歳のクローディアは、弟のジェイミーと家出することになりました。行き先はニューヨーク市のメトロポリタン美術館。お小遣いをため、きちんと計画を立てて実行します。美術館には、ミケランジェロの作品かもしれない天使の彫像が新しく展示され、2人はその天使の謎を解こうとしますが…。